

第3次安倍第3次改造内閣の政務官

内閣府	村井 英樹(37)自・衆②	埼玉1区
	山下 雄平(37)自・参①	佐賀選挙区
	長坂 康正(60)自・衆②※	愛知9区
総務	小倉 将信(36)自・衆②	東京23区
	山田 修路(63)自・参①	石川選挙区
	小林 史明(34)自・衆②	広島7区
法務	山下 貴司(51)自・衆②	岡山2区
外務	岡本 三成(52)公・衆②	比例北関東
	堀井 学(45)自・衆②	北海道9区
	堀井 巖(51)自・参①	奈良選挙区
財務	今枝宗一郎(33)自・衆②	愛知14区
	長峯 誠(48)自・参①	宮崎選挙区
文部科学	宮川 典子(38)自・衆②	比例南関東
	新妻 秀規(47)公・参①	比 例
厚生労働	田畑 裕明(44)自・衆②	富山1区
	大沼 瑞穂(38)自・参①	山形選挙区
農林水産	野中 厚(40)自・衆②	埼玉12区
	上月 良祐(54)自・参①	茨城選挙区
経済産業	大串 正樹(51)自・衆②※	兵庫6区
	平木 大作(42)公・参①	比 例
国土交通	秋本 真利(41)自・衆②	千葉9区
	高橋 克法(59)自・参①	栃木選挙区
	築 和生(38)自・衆②	栃木3区
環境	笹川 博義(50)自・衆②	群馬3区
	武部 新(47)自・衆②	北海道12区
防衛	大野敬太郎(48)自・衆②	香川3区
	福田 達夫(50)自・衆②	群馬4区

注) 敬称略。※は留任、他は新任。丸数字は当選回数。自は自民党、公は公明党。長坂氏は復興政務官兼務、小林、山下、築、武部、福田氏は内閣府政務官兼務、新妻、平木氏は内閣府政務官と復興政務官兼務

第3次安倍第3次改造内閣の副大臣

復興	土井 亨(58)自・衆③	宮城1区
	長沢 広明(58)公・参②、衆①※	比 例
内閣府	越智 隆雄(53)自・衆③※	東京6区
	福田 峰之(53)自・衆③	比例南関東
	松本 文明(68)自・衆③	比例東京
総務	奥野 信亮(73)自・衆④	奈良3区
	坂井 学(51)自・衆③	神奈川5区
法務	葉梨 康弘(57)自・衆④	茨城3区
外務	中根 一幸(48)自・衆③	比例北関東
	佐藤 正久(56)自・参②	比 例
財務	上野賢一郎(52)自・衆③	滋賀2区
	木原 稔(47)自・衆③※	熊本1区
文部科学	丹羽 秀樹(44)自・衆④	愛知6区
	水落 敏栄(74)自・参③※	比 例
厚生労働	高木美智代(64)公・衆⑤	比例東京
	牧原 秀樹(46)自・衆③	比例北関東
農林水産	磯崎 陽輔(59)自・参②※	大分選挙区
	谷合 正明(44)公・参③	比 例
経済産業	西銘恒三郎(63)自・衆④	比例九州
	武藤 容治(61)自・衆③	岐阜3区
国土交通	牧野 京夫(58)自・参②	静岡選挙区
	秋元 司(45)自・衆②、参①	比例東京
環境	渡嘉敷奈緒美(55)自・衆③	大阪7区
	伊藤 忠彦(53)自・衆③※	愛知8区
防衛	山本 朋広(42)自・衆③	比例南関東

注) 敬称略。※は留任、他は新任。丸数字は当選回数。自は自民党、公は公明党。坂井、葉梨、水落、武藤、伊藤、山本氏は内閣府副大臣兼務、秋元氏は内閣府副大臣と復興副大臣兼務

副大臣 安定第一、再起用も

政府は7日午前の臨時閣議で、内閣改造に伴う副大臣25人と政務官27人の人事を決めた。文部科学副大臣には自民党の丹羽秀樹衆院厚生労働委員長を再起用。加計(かけ)学園の問題を巡り混乱した文科省の立て直しに取り組む林芳正文科相を支える。法務副大臣は警察官出身で法務行政にも精通する葉梨康弘氏が再登板。安定重視の布陣とした。外務副大臣には陸上自衛隊員としてイラク派遣を経験した佐藤正久氏を、復興副大臣に被災地・宮城県出身の土井亨氏をそれぞれ充てた。11面に関連記事

副大臣は皇居での認証式を経て、午後初の副大臣会議を開き、デフレ脱却を

目指して経済最優先で取り組む方針を確認した。教育無償化や人材育成に投資する「人づくり革命」の推進なども申し合わせた。

安倍晋三首相は「経済最優先で政権運営に当たる」と強調。同時に「官僚との適切な信頼関係を築き、持てる力を存分に発揮できる環境をつくり、大臣のサポートや国政運営に当たってほしい」と呼び掛けた。加計学園の獣医学部新設計画を巡り「政と官」の問題が指摘されたことが念頭にありとみられる。

各政務官への辞令も午後に交付し、初の政務官合会を官邸で開いた。

防衛政務官には、福田康夫元首相の長男福田達夫衆

院議員と、大野功統元防衛庁長官の長男大野敬太郎衆院議員を充てた。公明党からは留任の長沢広明復興副大臣ら3人が副大臣に就いた。

宮川典子文部科学政務官は、加計学園問題に関し「問題の本質を省として明らかにしていくのが重要だ」と述べた。

政府は7日午前の臨時閣議で、内閣改造に伴う副大臣25人と政務官27人の人事を決めた。文部科学副大臣には自民党の丹羽秀樹衆院厚生労働委員長を再起用。加計(かけ)学園の問題を巡り混乱した文科省の立て直しに取り組む林芳正文科相を支える。法務副大臣は警察官出身で法務行政にも精通する葉梨康弘氏が再登板。安定重視の布陣とした。外務副大臣には陸上自衛隊員としてイラク派遣を経験した佐藤正久氏を、復興副大臣に被災地・宮城県出身の土井亨氏をそれぞれ充てた。11面に関連記事

副大臣は皇居での認証式を経て、午後初の副大臣会議を開き、デフレ脱却を

目指して経済最優先で取り組む方針を確認した。教育無償化や人材育成に投資する「人づくり革命」の推進なども申し合わせた。

安倍晋三首相は「経済最優先で政権運営に当たる」と強調。同時に「官僚との適切な信頼関係を築き、持てる力を存分に発揮できる環境をつくり、大臣のサポートや国政運営に当たってほしい」と呼び掛けた。加計学園の獣医学部新設計画を巡り「政と官」の問題が指摘されたことが念頭にありとみられる。

各政務官への辞令も午後に交付し、初の政務官合会を官邸で開いた。

防衛政務官には、福田康夫元首相の長男福田達夫衆

院議員と、大野功統元防衛庁長官の長男大野敬太郎衆院議員を充てた。公明党からは留任の長沢広明復興副大臣ら3人が副大臣に就いた。

宮川典子文部科学政務官は、加計学園問題に関し「問題の本質を省として明らかにしていくのが重要だ」と述べた。